

## 第36回セメント生コン・タンクローリー輸送部会 議事録

日 時：2023年11月12日（日）13：00～16：00

場 所：鹿島セントラル 2F 橋の間

出席者 16組合 3機関 会場参加22名 WEB参加 12名



### 議 事 内 容

司会の入倉書記次長より、進行が行われ、途中退出の為、運輸労連本部の坂井書記次長に司会進行のバトンを引き継ぎ、開催の代表者挨拶として、運輸労連本部の中央副委員長 世永氏より2024年問題についての課題、春闘に向けた取り組み、トラック運送の現状と課題、物流革新に向けた政策パッケージについて説明がありました。座長選出に、埼玉県連 太平洋陸送 小椋委員長が選出され、今回参加者より、順番に自己紹介が行われました。

坂井中央書記次長（産業政策部長）より、資料説明が行われました。

#### (1) 資料説明

・全日本トラック協会 解説「トラック運転手の改善基準告示」2024年4月適用より、危険物運搬に関する項目を抜粋して行われました。

#### 【意見交換】

- ・石油タンクローリー等は、第何類までなのか？
- ・速度問題より、深夜割引時間帯の緩和を考えた方がいいのでは？
- ・高速道路の速度規制緩和 安全面を考慮して、反対を押し切ってもらいたい。
- ・長大トンネルにおいて政策パッケージにある、特殊車両通行制度の見直しにあるように、通行の制限を緩和してほしい。
- ・標準的な運賃、特殊車両には、費用が高い為、強く取り組みをしてほしい。
- ・石油タンクローリーの無駄なルールが多い為、作業時間が発生する。
- ・作業の割に合理的な運賃がもらえてない。

#### 【事前質問】

- ・危険物輸送車は、「空車」になった場合、一般貨物扱いになってしまうのか？  
> 洗浄をした場合は、「一般貨物」扱いとなる。
- ・イエローカードについて対応は、各社どの様な対応をとっているのか？  
> 積みっぱなしや、点呼時に渡す対応、各社それぞれ異なる。

今回の部会は、意見交換の時間を長くとって頂き、多岐にわたり様々な意見交換が行われました。

\* 次回開催予定日を 2024 年 6 月 9 日～10 日を候補日とし、開催候補地を福井または、仙台方面を候補地とし、閉会しました。

以上